

九州大学総合研究博物館所蔵のシバンムシ類 (昆虫綱：コウチュウ目：ヒョウホンムシ科)

西田 光康

〒843-0023 佐賀県武雄市武雄町昭和280-201
nisidamusi@mx7.tiki.ne.jp

要旨：九州大学総合研究博物館に所蔵されている3コレクションのシバンムシ類を調べた結果、それぞれに14種、18種、44種を見いだした。その内の20種は未記載種と思われるために、全形図や雌雄の交尾器を示した。

キーワード：シバンムシ, 解剖, 交尾器, 未記載種

はじめに

シバンムシ類とはコウチュウ目、ヒョウホンムシ科の8亜科からなる昆虫で、かつてはシバンムシ科としてまとめられていた。シバンムシ類は日本からは84種ほどが記録されているが、多数の未記載種や未記録種が生息していると思われる。

死番虫(シバンムシ)は、death-watch beetles を訳したものであるが、欧州の古民家で古材から発生する種が異性を呼ぶために、頭部でコツコツと木を叩いて音を出し、重病人の死を予告する時計の音に模して名付けられたらしい。(田中, 1985) 名前の由来となった古木食の種や、乾物の食物や薬草などに発生する種は人間の生活に密接に結びついて、その方面ではよく知られている。名前も暗いが、体も暗色の種が多く、小さく丸まって判別ができないなど、記録されることも少なく、甲虫を愛でる者の中でのその人気度は低い。しかし、内に秘めたる雄の交尾器はこれが同じ種群かと思わせるほどの多様性に富み、造形美までを備えている。また、雌の交尾器は多様性のある産卵管と対で、角質化した支柱突起が備わり、属や種の特定に利用できる特徴的な種群となっている。

筆者は、2025年10～12月にかけて九州大学総合研究博物館に所蔵されているシバンムシ類について、複数のコレクションを調べることができ、下記のような種を確認できた。シバンムシには既知種に当てはまらない未確定

種も多く確認されており(西田, 2024; 西田他, 2024)、外観での同定が困難なものとなるべく解剖して種の確定を行った。

目録

中條道崇コレクション

Subfamily **Eucradinae** LeConte, 1861 オオシバンムシ亜科

1. ケオビトサカシバンムシ

Ptinomorphus exilis (Kiesenwetter, 1879)

3個体解剖せず。福岡県英彦山, 立花山, 犬鳴山, 各地で春期の灌木葉上に多い。

2. ヒメトサカシバンムシ

Anhedobia capucina (Reitter, 1877)

3個体解剖せず。福岡県能古島, 和歌山県太地町, 前種同様だがやや低地にいる。

Subfamily **Ernobiinae** Pic, 1912 マツシバンムシ亜科

3. ニセコガタマツシバンムシ

Ernobius simillimus Sakai, 2002

1個体解剖せず。福岡市生の松原。春期に松林の生木葉上に多い。

Subfamily **Anobiinae** Fleming, 1821 シバンムシ亜科

4. ツツガタシバンムシ *Gastrallus affinis* Sakai, 1984
6 個体中 3 個体解剖：2 ♂ 1 ♀, 3 個体は解剖せず。西表島, 与那国島。広域に分布するが, 交尾器を含め明瞭な違いは見いだせない。
5. ツツガタシバンムシの一種 *Gastrallus* sp.
1 ♂ 小笠原諸島父島。前胸より上翅が濃色になる以外にツツガタシバンムシとの外観での明確な相違を見いだせないが, ♂交尾器は全く異なっていて, 未記載種ではないかと思われる。(図 1, 2)
6. オオナガシバンムシ *Priobium carpini* (Herbst, 1793)
3 個体中 1 個体解剖：1 ♀, 2 個体は解剖せず。3 頭共にラベル内容は同一で, 「新潟県から移築した千葉県 of 建物の建材から羽化した」と記述されていて, 人為的に昆虫が移入してしまう実例となっている。
7. ジンサンシバンムシ
Stegobium paniceum (Linnaeus, 1758)
4 個体解剖せず。長崎県諫早市。有名な乾物食の種で, ラベルには「にんじんの種子から発生」と記されている。

Subfamily **Xyletininae** Gistel, 1848 セスジシバンムシ亜科

8. タバコシバンムシ
Lasioderma serricorne (Fabricius, 1792)
10 個体中 1 個体解剖：1 ♀, 9 個体は解剖せず。本種も乾物食で, 有名なコスモポリタン。
9. セスジタワラシバンムシ
Holcobius japonicus (Pic, 1903)
3 個体中 1 個体解剖：1 ♂ 2 個体は解剖せず。和歌山県。春期に樹葉上から得られている。

Subfamily **Dorcatominae** Thomson, 1859 キノコシバンムシ亜科

10. クリイロタマキノコシバンムシ
Byrrhodes nipponicus Sakai, 1984
2 個体中 1 個体解剖：1 ♀, 1 個体は解剖せず。東京都奥多摩町。
11. タマキノコシバンムシの一種 *Byrrhodes* sp.
1 個体を解剖：1 ♀ 東京都奥多摩町。この属には日本産既知 3 種の他に不明種が多く, 雌の交尾

器(産卵管と支柱突起)も似ていて♀個体だけでは区別が困難なものが多い。本個体の小顎髭は大きな三角形で特徴的。

12. ヒメホコリタケシバンムシ
Caenocara rufitarse (Reitter, 1878)
1 個体解剖せず。福岡県英彦山。
13. オオホコリタケシバンムシ
Caenocara tsuchiguri Sakai, 1984
1 個体解剖せず。和歌山県中辺路町。
14. ツガタケミゾキノコシバンムシ
Mizodorcatoma pinicola (N. Hayashi, 1951)
21 個体中 10 個体解剖：10 ♀ 10.11.14. の個体のラベル内容は東京都奥多摩町で同一であり, 標本自体も擦れなどが無いので, 同じ茸から発生したことが推察される。筆者は本種と思われるものを, 今回のものを含め 10 数個体解剖しているが, いずれも♀で♂を見たことがない。本種の原記載(Hayashi: 1955)時には雄交尾器も図示されているのだが, 今回は, 5 回で 10 個体の解剖に止めた。

佐々治寛之コレクション

Subfamily **Eucradinae** LeConte, 1861 オオシバンムシ亜科

1. ケオビトサカシバンムシ
Ptinomorphus exilis (Kiesenwetter, 1879)
2 個体解剖せず。和歌山県と奈良県。

Subfamily **Ernobiinae** Pic, 1912 マツシバンムシ亜科

2. ワタナベマツシバンムシ
Ernobius watanabei Sakai, 2002
1 個体解剖せず。本種は真っ黒な体色が特徴的で, 採集時に顕著な未記載種と思われたのであろう, 赤いラベルが付けられていた。1972年に京都府宇治市で得られたもので, 記載よりも 30 年も前に得られていたことになる。

Subfamily **Anobiinae** Fleming, 1821 シバンムシ亜科

3. ツツガタシバンムシ *Gastrallus affinis* Sakai, 1984
1 個体解剖：1 ♂ トカラ中之島。
4. フルホンシバンムシ
Gastrallus immarginatus (Müller, 1821)
2 個体中 1 個体解剖：1 ♀ 1 個体は解剖せず。

福岡市平尾と静岡県.

5. ケブカシバンムシ

Nicobium castaneum (Olivier, 1790)2 個体中 1 個体解剖: 1 ♂ 1 個体は解剖せず.
長崎市. 古材食で, 家屋内で発生する.

6. ジンサンシバンムシ

Stegobium paniceum (Linnaeus, 1758)3 個体中 1 個体解剖: 1 ♀ 2 個体は解剖せず.
福井県大野市. コスモポリタン.

7. トサカシバンムシ

Trichodesma (Trichodesma) fasciculae (Reitter, 1877)8 個体中 2 個体解剖: 2 ♂ 6 個体は解剖せず.
すべて福井県.

8. クロトサカシバンムシ

Trichodesma (Trichodesma) japonica Pic, 1906

4 個体中 1 個体解剖: 1 ♀ 3 個体解剖せず. 解剖した個体は佐渡島産で, 色彩が薄くトサカシバンムシに近いものであった. 他は, 石川県と福井県.

Subfamily *Ptilininae* Shuckard, 1839 クシヒゲツツシバンムシ亜科

9. ツツガタホソシバンムシ

Indanobium kyushuense (Nakane, 1989)

3 個体解剖せず. 対馬竜良山. 西表島から西日本まで広く分布し, 夏季に照葉樹林帯で得られている. 余り知られていないのか同定依頼をよく受けるが, 体表のつや消しの質感と鋭く尖った触角の中間節が特徴的で, 同定は容易い.

Subfamily *Xyletininae* Gistel, 1848 セスジシバンムシ亜科

10. ケモンセスジシバンムシ

Xyletinus tomentosus Sakai, 1975

33 個体中 1 個体解剖: 1 ♀ 他は解剖せず. 全て福井県. 盛夏に低山の樹葉上に多い.

11. セスジタワラシバンムシ

Holcobius japonicus (Pic, 1903)2 個体中 1 個体解剖: 1 ♀ 1 個体は解剖せず.
福井県.Subfamily *Dorcatominae* Thomson, 1859 キノコシバンムシ亜科12. タマキノコシバンムシの不明種 1 *Byrrhodes* sp. 1

1 個体解剖: 1 ♀ 福岡県英彦山. ♀なので識別不可.

13. タマキノコシバンムシの不明種 2 *Byrrhodes* sp. 2

6 個体中 5 個体解剖: 3 ♂ 2 ♀ 1 個体は解剖せず. 小笠原諸島母島. 黒色で本属種としては少し細長く, 外観の特徴は 6 個体ともに同じで安定している. 雄の交尾器は包片から伸びる左右の片が単純に伸びていて, 同属他種とは多少異なっている. (図 3, 4)

※上記 2 種の sp. 1, sp. 2 は佐々治コレクション中での違いを表したものの.

14. ヒメホコリタケシバンムシ

Caenocara rufitarse (Reitter, 1878)

2 個体中 1 個体解剖: 1 ♂ 1 個体解剖せず. 福岡市平尾と対馬御嶽.

15. オオホコリタケシバンムシ

Caenocara tsuchiguri Sakai, 1984

4 個体中 3 個体解剖: 1 ♂ 2 ♀ 1 個体解剖せず. 佐渡島, 越後津川, 大分県久住山, 福岡県英彦山.

16. オガサワラヒメマルシバンムシ?

Cryptoramorphus boninensis (Ford, 1958) ?

1 個体解剖: 1 ♀ 小笠原諸島母島産なので本種とした. 本個体の頭部半分が虫害で欠損していることもあり, 九州産のヒメマルシバンムシ♀との外観上の違いは認めたいが, 産卵管と支柱突起は明らかに短く華奢. ヒメマルが産卵管と支柱突起共に 0.8mm 程度なのに対し, 本個体は 0.5mm 程度. (図 5, 6)

17. コクロキノコシバンムシ

Dorcatoma japonica Pic, 1937

1 個体解剖: 1 ♂ 福井県丸岡町川上. ♂の球桿は十手状になり特徴的だが, 発達が悪く♀と同様な♂個体もいる.

18. チビキノコシバンムシの一種 *Sculptotheca* sp.

1 個体解剖: 1 ♂ 福井県丸岡町川上. 邦産の本属種は 1 頭の標本を基に 1900 年に記載されたもので, 実態がよく分からない. 本属種には複数の未確定種が確認されていて (西田: 2024, 西田他:

2024), 本個体は大型で上翅の点刻が浅いことが特徴の種ではないかと思われる。(図7, 8)

城戸克弥コレクション

Subfamily **Eucradinae** LeConte, 1861 オオシバンムシ亜科

1. ケオビトサカシバンムシ

Ptinomorphus exilis (Kiesenwetter, 1879)

75個体：解剖せず。福岡県各地，佐賀県の離島，大分県黒岳など。

2. ヒメトサカシバンムシ

Anhedobia capucina (Reitter, 1877)

49個体：解剖せず。福岡県各地，福岡県，佐賀県の離島など。

Subfamily **Dryophilinae** Gistel, 1848 クシヒゲシバンムシ亜科

3. クシヒゲシバンムシ

Ptilineurus marmoratus (Reitter, 1877)

3個体中1個体解剖：1♀ 2個体は解剖せず。産卵管と支柱突起が長い。熊本県玉名郡三ノ岳と天水町小天産で，九州では珍しい。(図9, 10)

Subfamily **Ernobiinae** Pic, 1912 マツシバンムシ亜科

4. コガタマツシバンムシ *Ernobius curticollis* Pic, 1921

1個体解剖：1♀ 佐賀県神集島。頭裏の喉板のみが淡色。

5. ニセコガタマツシバンムシ

Ernobius simillimus Sakai, 2002

16個体中の2個体解剖：1♂1♀ 14個体は解剖せず。福岡県城山，立花山，砥上岳，佐賀県高島，小川島など。頭裏全体が淡色。

6. ケシマツシバンムシ *Ernobius minutissimus* Sakai, 2002

1個体解剖：1♂ 佐賀県唐津市高島。頭裏の喉板のみが淡色 触角の7-8節が太短い。

7. マツシバンムシの不明種 *Ernobius* sp.

1個体解剖：1♀ 福岡県宗像市さつき松原。上記3種に似るが少し大きい。頭裏の喉板の真ん中あたりが淡色で，♀の支柱突起の形状も異なり，長く先端は狭いV字状。西田他(2024)でニセコガタマツシバンムシの近似種*E. sp. 1*とした種。(図11, 12)

※ *Ernobius* 残りの30個体は解剖と検討をせず。

Subfamily **Anobiinae** Fleming, 1821 シバンムシ亜科

8. シバタコツツシバンムシ

Falsogastrallus taichii Sakai, 2008

12個体中3個体解剖：3♀ 9個体は解剖せず。福岡県久留米市大善寺宮本，大野城市四王寺山，宗像市吉留八所宮など。

9. フルホンシバンムシ

Gastrallus immarginatus (Müller, 1821)

6個体：解剖せず。福岡県宗像市城山，福岡市志賀島。

10. ツツガタシバンムシ *Gastrallus affinis* Sakai, 1984

50個体中5個体解剖：3♂2♀，45個体は解剖せず，別種が混在している可能性はある。福岡県大野城市四王寺山，福岡市志賀島，篠栗町津波黒など。

11. オオナガシバンムシ *Priobium carpini* (Herbst, 1793)

2個体中1個体解剖：1♀ 1個体は解剖せず。福岡県うきは市浮羽町新川長岩で得られたもので，九州産を初めて見た。北海道産の雄交尾器は欧州産のものと変わりはない。また，九州産と北海道産の外部形態の違いは認めがたい。この種も北海道では家屋の建材から発生するという。(図13, 14)

12. ニセオオナガシバンムシの近似種 *Priobium* sp.

9個体中1個体解剖：1♀ 8個体は解剖せず。福岡県筑紫野市大根地山，宗像市吉留八所宮，城山，東峰村岩屋。西田(2024)でニセオオナガシバンムシの近似種*P. sp.*としている種で，今のところは主に照葉樹林帯で見ついている。以前は，タイプ指定した個体が♀である場合は，外部形態のみで記載されていた。シバンムシ類では♀の腹腔内に存在する産卵管や支柱突起もはっきりと角質化し，種独特の特徴を有するものも多く，♀個体で記載された本属種においてもいつの日かそれらを明らかにしたい。(図15)

13. クロトサカシバンムシ

Trichodesma (Trichodesma) japonica Pic, 1906

2個体解剖せず。福岡県宗像市沖ノ島，城山。

14. ジンサンシバンムシ

Stegobium paniceum (Linnaeus, 1758)

10個体中2個体解剖：1♂1♀ 8個体は解剖せず。福岡県各地。♂の雄交尾器は驚くほど歪。(図16, 17)

Subfamily **Ptilininae** Shuckard, 1839 クシヒゲツツシバンムシ亜科

15. ツツガタホソシバンムシ

Indanobium kyushuense (Nakane, 1989)

112個体: 解剖せず。福岡県, 佐賀県各地, 鹿児島県大隅半島など。

16. クシヒゲツツシバンムシの不明種 *Ptilinus* sp.

2個体解剖: 1♂1♀ 同時に採集された福岡県豊前市犬ヶ岳産で, 広島県産に同じものがあり, 北海道産で確認している3種とは雄交尾器が異なるので, 本属種は少なくとも日本には4種は生息していることになる。産卵管と支柱突起が他の種はほとんどが直線状であるが, 本種は平面状で大変特異。(図18, 19, 20, 21, 22)

Subfamily **Xyletininae** Gistel, 1848 セスジシバンムシ亜科

17. ケモンセスジシバンムシ

Xyletinus tomentosus Sakai, 1975

66個体: 解剖せず。福岡県各地, 福岡県と佐賀県の離島, 鹿児島県大隅半島など。

18. タバコシバンムシ

Lasioderma serricorne (Fabricius, 1792)

8個体: 解剖せず。福岡県各地, 熊本県玉名郡三ノ岳など。

19. セスジシバンムシの一種1 *Lasioderma* sp.13個体中の2個体解剖: 1♂1♀, 11個体は解剖せず。福岡県うきは市浮羽町新川, 篠栗町津波黒, 筑前町砥上岳など。トカラヒメシバンムシ *L. amabile* に近縁。雄交尾器中央片の中に爪楊枝状の骨片が多数横向きに並ぶ。春期に低地で林縁の樹葉上で得られる。(図23)20. セスジシバンムシの一種2 *Neoxyletinus* sp.

1個体解剖: 1♂ 熊本県玉名郡三ノ岳。佐賀県産の♀(西田: 2025)と同種と思われる。本種の雄交尾器中央片中の骨片は, 伸びたバラの棘様で数個見られる。上翅には明瞭な点刻条溝があり, 間室は皺状。触角に球桿はなく, 第4~10節は伸張せずに尖るのみ。(図24, 25)

Subfamily **Dorcatominae** Thomson, 1859 キノコシバンムシ亜科

21. クリイロタマキノコシバンムシ

Byrrhodes nipponicus Sakai, 1984

28個体中の2個体を解剖: 2♀ 26個体は解剖せず。福岡県宗像市吉留八所宮, 城山, 筑前町砥上岳, 大野城市四天王山, 福岡市志賀島, 大分県庄内町黒岳など。

22. タイワンタマキノコシバンムシ

Byrrhodes tomokunii Sakai, 1996

2個体解剖: 1♂1♀ 福岡県宗像市山田白山, 福岡市玄界町。黒色。(図26)

23. タマキノコシバンムシの不明種1 *Byrrhodes* sp. 1

5個体解剖: 4♂1♀ 福岡県那珂川町九千部山, 福岡市志賀島, 宗像市鐘ノ岬, 筑紫野市大根地山など。♂の雄交尾器中央片?が湾曲する。(図27)

24. タマキノコシバンムシの不明種2 *Byrrhodes* sp. 2

1個体解剖: 1♂ 佐賀県唐津市高島。複眼が大きい。(図28, 29)

25. タマキノコシバンムシの不明種3 *Byrrhodes* sp. 3

6個体解剖: 6♀ 福岡県宗像市吉留八所宮, 筑前町砥上岳, 筑紫野市大根地山。♀の支柱突起が=状で特異。小顎髭が三角形。(図30, 31)

26. タマキノコシバンムシの不明種6 *Byrrhodes* sp. 6

1個体解剖: 1♂ 福岡県うきは市浮羽町新川分田。タイワンタマキノコシバンムシに似るが雄交尾器が異なる。小顎髭が三角形。(図32, 33)

その他の *Byrrhodes* の不明種

- ・小型, 茶色い: 9個体解剖せず sp. 1の可能性が高い。
 - ・やや大~小, 濃茶: 5個体中3個体解剖するも♀のみで, 識別不可。
 - ・大, こげ茶, 上翅点刻均一: 11個体中5個体解剖: 1♂4♀ 多分新認識の種 (*B. sp. 11*)。
 - ・やや大, こげ茶, 上翅点刻不均一: 12個体中4個体解剖: 4♀ 識別不可。
- ※上記 *Byrrhodes* における sp. 1, sp. 2, sp. 3, sp. 6, sp. 11は, 筆者が独自に認識している区別を現わす。

27. ヒメホコリタケシバンムシ

Caenocara rufitarse (Reitter, 1878)

52個体中9個体解剖: 4♂5♀ 43個体は解剖せず。福岡県うきは市浮羽町新川, 大野城市四王寺山, 甘木市古処山, 宗像市城山, 志免町姫島, 福

- 岡市玄界町, 筑前町夜須高原など.
28. オオホコリタケシバンムシ
Caenocara tsuchiguri Sakai, 1984
13個体中5個体解剖: 1♂4♀ 8個体は解剖せず. 福岡県八女市星野村石割岳, 東峰村岩屋, 筑紫野市大根地山, 福岡市志賀島.
29. ヒメマルシバンムシ
Cryptoramorphus longiusculus (Reitter, 1877)
5個体解剖: 2♂3♀ 熊本県玉名郡三ノ岳, 佐賀県唐津市高島, 加唐島.
30. コクロキノコシバンムシ
Dorcatoma japonica Pic, 1937
1個体解剖: 1♀ 黒色. 福岡県浅間山. 産卵管と支柱突起は長い. (図34, 37)
31. キノコシバンムシの一種1 *Dorcatoma* sp. 1
3個体解剖: 3♀ 福岡県東峰村岩屋. 大分県庄内町黒岳. 産卵管と支柱突起は短く, 触角の中間節が尖らない. ♂であれば複眼が非常に大きい種. (図35, 38)
32. キノコシバンムシの一種4 *Dorcatoma* sp. 4
1個体解剖: 1♀ 福岡県志摩町立石山. 産卵管と支柱突起が非常に長い. 香川県産に同じ種がある. (図36, 39)
※上記 *Dorcatoma* における sp. 1, sp. 4も筆者が独自に認識している区別を現わす.
33. マゴジャクシミゾキノコシバンムシ
Mizodorcatoma magojyakushi Sakai, 1996
10個体中5個体解剖: 4♂1♀ 5個体は解剖せず. 福岡県宗像市城山, 筑前町砥上岳, 筑紫野市大根地山, 大分県庄内町黒岳, 鹿児島県南大隅町辺塚, 大隅など. 黒色, 上翅にはっきりと傷状線あり, 複眼が大きく, 前方が角張る. 九州北部では個体数多い. (図40)
34. フタイロミゾキノコシバンムシ
Mizodorcatoma pulcherrima Sakai, 1979
2個体解剖せず. 福岡県篠栗町津波黒, 鹿児島県南大隅町杉山谷.
35. チビキノコシバンムシの一種2 *Sculptothea* sp. 2
8個体中4個体解剖: 3♂1♀, 4個体は解剖せず. 福岡県宗像市吉留八所宮. 上翅の点刻は大きく深い. (図41)
36. チビキノコシバンムシの一種3 *Sculptothea* sp. 3
2個体解剖: 2♀ 福岡県宗像市吉留八所宮. 上翅の点刻は浅い. (図42)
※上記 *Sculptothea* における sp. 2, sp. 3は, 筆者が独自に認識している区別を現わす.
37. ニセスジキノコシバンムシ
Stagetodes tetsuyai Sakai, 1995
5個体中3個体解剖: 1♂2♀, 2個体解剖せず. 福岡県城山, 犬ヶ岳, うきは市, 地島. 雄交尾器中央片の先につく片は中央片の中央軸からずれる. (図43)
38. ゴズニセスジキノコシバンムシ
Stagetodes zozu Sakai, 1995
5個体中3個体解剖: 1♂2♀, 2個体解剖せず. 福岡県篠栗町津波黒加, 宗像市. 雄交尾器中央片の先につく片は中央片の中央軸に沿う. (図44)
39. スジバネキノコシバンムシ
Stagetus uenoi Sakai, 1995
14個体を解剖: 8♂6♀ 福岡県うきは市浮羽町新川. 本属種の雄交尾器中央片の先端には毛束が備わり, 側片先端には付属片が備わる. 以下3種共にその基本形は同じ. (図45, 50)
40. スジバネキノコシバンムシの一種1 *Stagetus* sp. 1
3個体解剖: 2♂1♀ 福岡県うきは市浮羽町新川. 雄交尾器の形状は上記種に似ているが遙かに小さい. 西田 (2024) で記録されている種と同じ種. (図46, 51)
41. スジバネキノコシバンムシの一種2 *Stagetus* sp. 2
2個体解剖: 2♂ 福岡県うきは市浮羽町新川. 雄交尾器は大きく太く強壯. (図47, 52)
42. スジバネキノコシバンムシの一種3 *Stagetus* sp. 3
2個体解剖: 1♂1♀ 福岡県うきは市浮羽町新川. 雄交尾器は細長く, 産卵管も特異な形. ♀は sp. 2の可能性もある. (図48, 49, 53, 54)
39.~42. は福岡県うきは市で同所的に得られたもの.
- Subfamily **Mesocoelopadinae** Mulsant and Rey, 1864 **マルガタシバンムシ亜科**
43. ホソアシシバンムシ
Nesocoelopus miyatakei Sakai, 1979
2個体解剖せず. 福岡県久留米市大善寺宮本, 篠

栗町津波黒.

44. トゲヒゲマルガタシバンムシの一種 *Rhamna* sp.
2 個体解剖: 2 ♂ 福岡県宗像市吉留八所宮, 篠栗町津波黒, 西田他 (2024) で *Rhamna* sp. ①としたものと同じと思われる. 本属の種は, 触角第1節が棘状で後脚腿節が極太. (図55, 56)

結果と考察

以上のとおり, 中條道崇コレクションで14種, 佐々治寛之コレクションで17種, 城戸克弥コレクションで44種のシバンムシ類を確認した.

中條道崇コレクションではツツガタシバンムシの一種 *Gastrallus* sp. が, 佐々治寛之コレクションではタマキノコシバンムシの不明種 2 *Byrrhodes* sp. 2 が未記載種ではないかと思われ, どちらも小笠原諸島産である. 城戸克弥コレクションには未記載種と思われるものが多く含まれ, マツシバンムシの不明種 *Ernobius* sp., ニセオオナガシバンムシの近似種 *Priobium* sp., クシヒゲツツシバンムシの不明種 *Ptilinus* sp., セスジシバンムシの一種 1 *Lasioderma* sp., セスジシバンムシの一種 2 *Neoxyletinus* sp., タマキノコシバンムシの不明種 1 *Byrrhodes* sp. 1, 同2, 同3, 同6, 同11, キノコシバンムシの一種 1 *Dorcatoma* sp. 1, 同4, チビキノコシバンムシ属の一種 *Sculptotheca* sp. 2, 同 sp. 3, スジバネキノコシバンムシの一種 1 *Stagetus* sp. 1, 同2, 同3, トゲヒゲマルガタシバンムシの一種 *Rhamna* sp. の18種を数えた.

特に特徴的だったのは, 城戸コレクション中のスジバネキノコシバンムシ属 *Stagetus* 4種が同所的に得られていたことで, 同属の日本産既知種は1種のみで3種が未確認種となる. しかもその場所は採集者の城戸氏によれば, かつてのアカマツ林が消失し, 人工林に置き換わったところに残存する僅かな雑木林で, 自然環境は良くない (城戸, 2023a, 2023b). 城戸氏は福岡県を中心に長年にわたり甲虫類の調査をされ, 膨大な記録を残されている. そして採集した個体はすべてマウントされている. しかし, コレクション中には他所の標本は全く含まれていない. 整った自然環境の中では, 人の目に触れる機会がほとんど無い希少種が, 攪乱された環境下では時に容易く発見できるほど姿を現わす事例となり, 種群は違うがゴミムシ類においても同じような報告がある. (西田,

1999) 甲虫の生息調査の困難さと奥深さを現わす好例ではないかと思われる. また, セスジシバンムシの一種 2 *Neoxyletinus* sp. と九州ではほとんど記録されないクシヒゲシバンムシも果樹園や人工林に置き換わった自然環境の少ない熊本県玉名市天水町小天 三ノ岳 (城戸: 1988) で得られていて同様の事例となる.

調査できた各コレクションにはシバンムシの研究における, 分類学的に大変重要な標本が多数含まれ, 専門の研究者による早期の活用を切に願っている. また, 個人的には今回の調査で得られた知見を含め, 近い将来にシバンムシ類の同定に利用できる資料を作成提示したいと思っている.

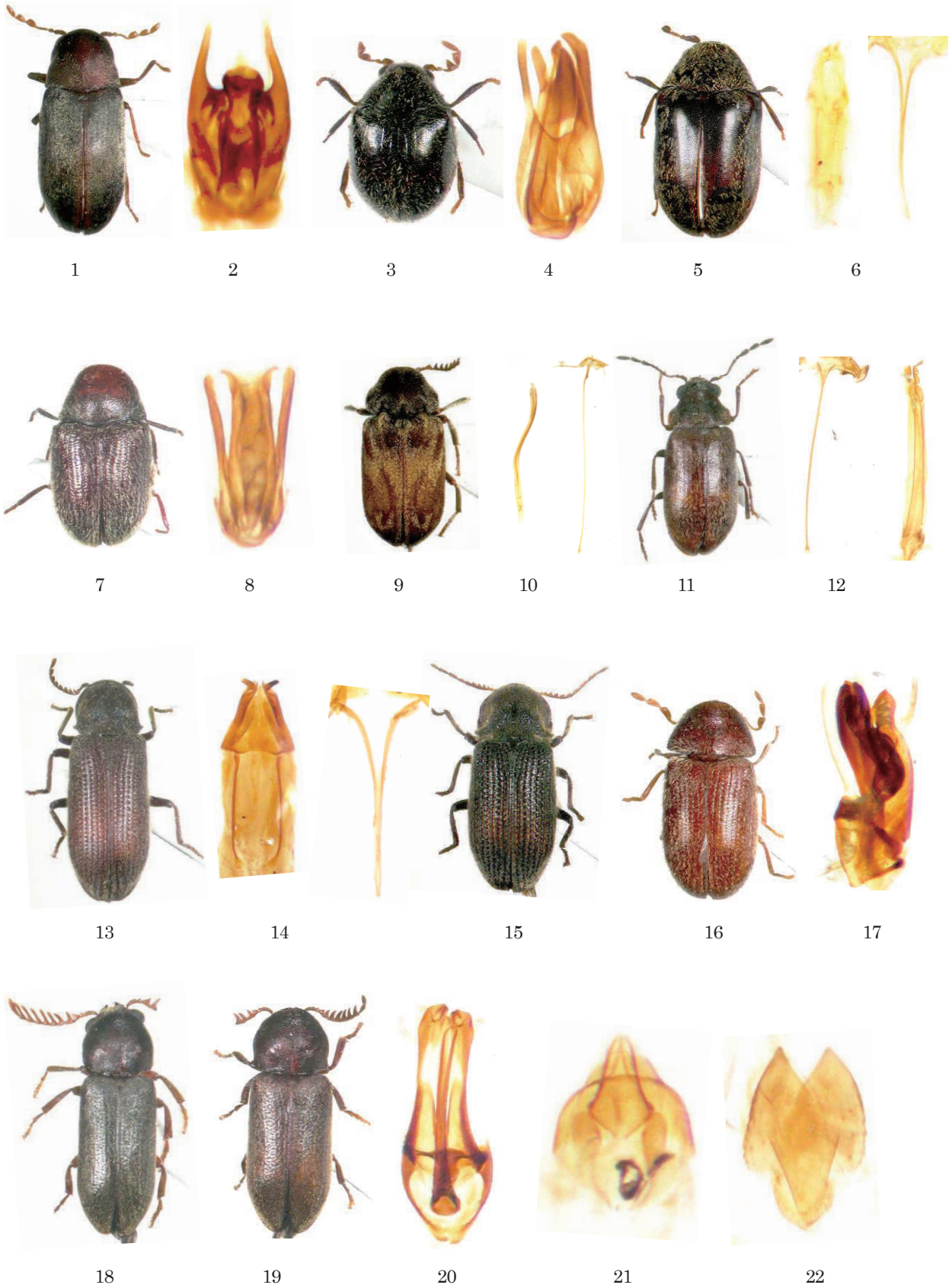
謝辞

最後になったが, 貴重な所蔵標本の調査を快諾いただいた, 九州大学総合研究博物館 准教授 丸山宗利博士には厚くお礼申し上げます. また, 調査の手助けをしていただき, この原稿の作成にご協力していただいた同館協力研究員 城戸克弥氏と, シバンムシのデータ提供や書類作成で便宜を図っていただいた同館技術補佐員 松本淳和氏と上杉まどか氏に心より感謝申し上げます.

引用文献

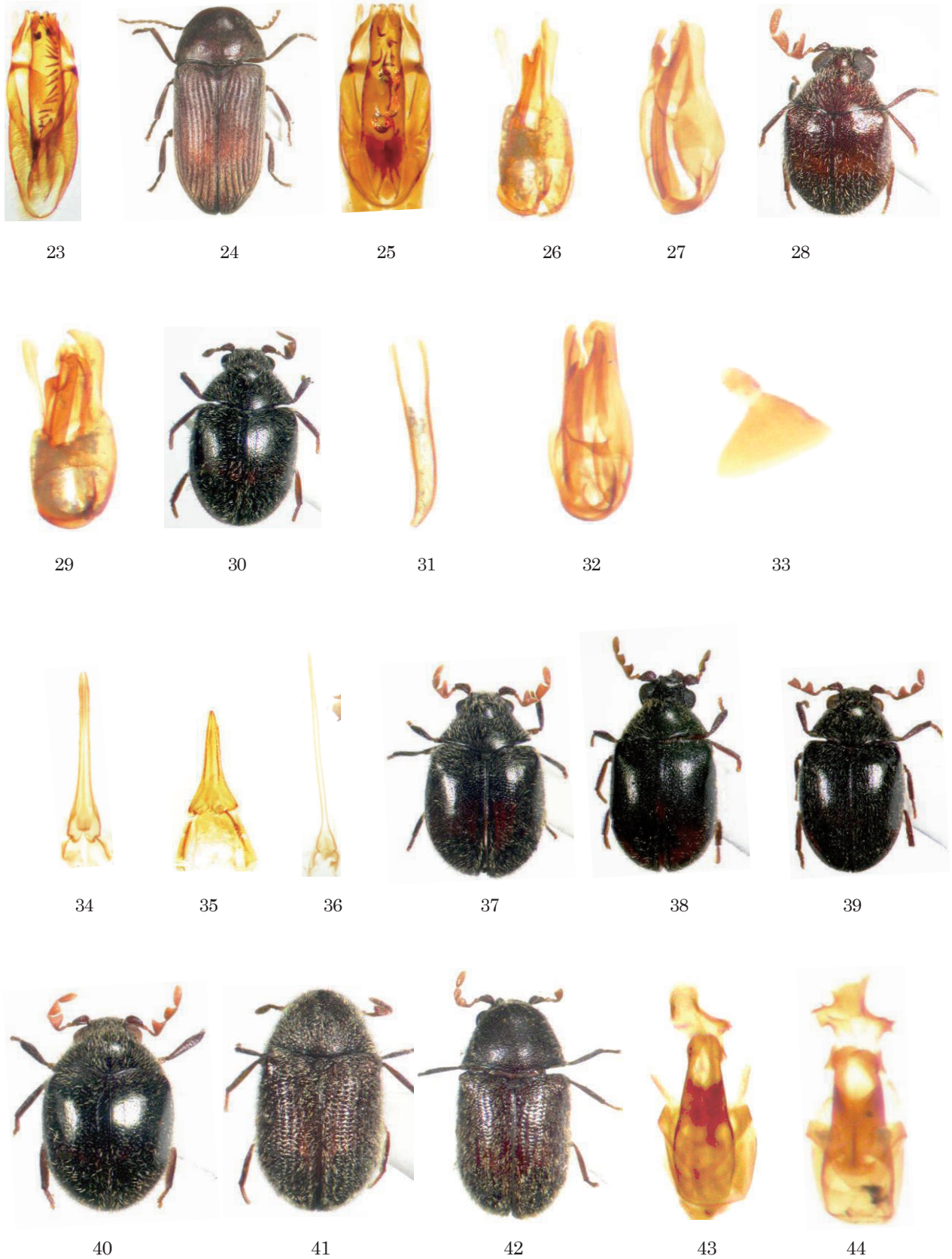
- 城戸克弥 (1988) 熊本県天水町の甲虫 (1), 北九州の昆虫, 35 (2): 105-111.
城戸克弥 (2023a) 丸山式 FIT で得られたうきは市浮羽町新川の甲虫類 (1), (KORASANA), 101:109-120.
城戸克弥 (2023b) うきは市浮羽町新川で採集した甲虫類 (1), (KORASANA), 101:121-150.
田中和夫 (1985) 乾材を害する日本産シバンムシ類の解説, 家屋害虫, (25,26): 61-71.
西田光康 (1999) 東彼杵町深入谷の造成地の側溝で得られた甲虫, こがねむし, (61): 1-6.
西田光康 (2024) 西九州と対馬のシバンムシについて, こがねむし, (88): 1-17.
西田光康 (2025) 嬉野市唐泉山の甲虫相について, (KORASANA), 104: 43-72.
西田光康・今坂正一 (2024) 今坂正一が所蔵していたシバンムシ類について, こがねむし, (89): 25-39.
Hayashi nodoka (1955) Description of a new Genus and a new species of Dorcatomiae from Japan Studies on Dorcatominae, Anobiidae, II, *New Entomologist*, 4: 21-23.

Received Dec. 8, 2025; accepted Jan. 10, 2026



図版 1

1, ツツガタシバンムシの一種 (父島産); 2, 同 雄交尾器; 3, *Byrrhodes* sp. 2 (母島産); 4, 同 雄交尾器; 5, オガサワラヒメマルシバンムシ (母島産); 6, 同 産卵管と支柱突起; 7, チビキノコシバンムシの一種; 8, 同 雄交尾器; 9, クシヒゲシバンムシ; 10, 同 産卵管と支柱突起; 11, *Ernobius* sp.; 12, 同 支柱突起と産卵管; 13, オオナガシバンムシ; 14, 同 産卵管と支柱突起; 15, *Priobium* sp.; 16, ジンサンシバンムシ; 17, 同 雄交尾器; 18, *Ptilinus* sp. ♂; 19, 同 ♀; 20, 同 雄交尾器; 21, 同 産卵管; 22, 同 支柱突起。



図版 2

23, *Lasioderma* sp. 雄交尾器; 24, *Neoxyletinus* sp.; 25, 同 雄交尾器; 26, タイワンタマキノコシバンムシ 雄交尾器; 27, *Byrrhodes* sp. 1 雄交尾器; 28, *Byrrhodes* sp. 2; 29, *Byrrhodes* sp. 2 雄交尾器; 30, *Byrrhodes* sp. 3; 31, 同 支柱突起; 32, *Byrrhodes* sp. 6 雄交尾器; 33, 同 小顎髯; 34, コクロキノコシバンムシ 産卵管; 35, *Dorcatoma* sp. 1 産卵管; 36, *Dorcatoma* sp. 4 産卵管; 37, コクロキノコシバンムシ; 38, *Dorcatoma* sp. 1; 39, *Dorcatoma* sp. 4; 40, マゴジャクシミゾキノコシバンムシ; 41, *Sculptotheca* sp. 2; 42, *Sculptotheca* sp. 3; 43, ニセスジキノコシバンムシ 雄交尾器; 44, ゾズニセスジキノコシバンムシ 雄交尾器.



图版 3

45, *Stagetus uenoi*; 46, *Stagetus* sp. 1; 47, *Stagetus* sp. 2; 48, *Stagetus* sp. 3 ♂; 49, *Stagetus* sp. 3 ♀; 50, *S. uenoi* 雄交尾器; 51, *Stagetus* sp. 1 雄交尾器; 52, *Stagetus* sp. 2 雄交尾器; 53, *Stagetus* sp. 3 雄交尾器; 54, *Stagetus* sp. 3 产卵管; 55, *Rhamna* sp.; 56, 同 雄交尾器。

Ptinidae (Anobiinae) Deposited in the Kyushu University Museum

Mitsuyasu NISHIDA

Showa 280-201, Takeo-cho, Takeo City, Saga Prefecture, Japan
nisidamusi@mx7.tiki.ne.jp

The death-watch beetles (Coleoptera: Ptinidae) from three collections deposited in the Kyushu University Museum were examined. A total of 14, 18, and 44 species were recognized from the respective collections. Among them, 20 species are considered to be undescribed. For these species, habitus illustrations as well as male and female genitalia are provided.

Key words: death-watch beetles, anatomy, aedeagus, undescribed species

